※令和４年度以降入学生用

学校番号	3023

令和８年度　国際文化科

教科	（学）国際文化	科目	長文読解上級	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	SKYWARD SKY Course 2nd Edition 最新入試英語長文 20 選（桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

読解力や、正しく解答する力を身に着けるには、自分が初めて読む文にまずは自分の力でどれだけ深く向き合えるかが重要です。予習の段階から、時間を図り、緊張感をもって問題を解きましょう。そのうえで授業での解説を聞き、復習に取り組むと力がついていくはずです。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・自然な速さで話されるさまざまな分野のスピーチや対話、討論、講義などをメモをとりながら聞いて、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・日常的な会話から社会的な話題や時事問題などさまざまな種類のテーマに関する会話やスピーチ、講義などを聞いて､内容に関して、英語で質疑応答できる。 ・それぞれの情報の間の論理的な関係について理解することができる。 ・自然な速さで話されるニュース、テレビ番組や映画などを、映像をヒントに要点を聞きとることができる。 ・未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用しながら聞くことができる。	・数段落から成るトピックの評論文や説明文(700 語程度)を一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら、概要をとらえることができる。 ・社会的な話題や時事問題について書かれている説明や評論などを精読して、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 ・評論・エッセイを表面的な意味理解をしたうえで、その書き手の意図や目的などを理解することができる。 ・パラグラフ内の構造やパラグラフ間の構造を意識して読むことができる。 ・辞書に頼りすぎないで、未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用しながら読むことができる。	・事実や意見等を多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら、自分の意見や考えなどについて相手に説明したり、また発表された相手の情報や考えに対して質問するなど、情報交換や意見交換をすることができる。 ・多様な考え方ができる話題について、立場を決めて自分の意見をまとめ、また相手の主張を即座にまとめて、それに対して、理由と具体的な事例を与えたりしながら建設的に反論することができる。 ・身近なトピックや興味・関心のあるテーマについて、即興で説明をすることができる。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり調査したりして結論をまとめ、発表することができる。 ・身近なトピックや興味・関心のあるテーマについて、即興で説明をすることができる。 ・知識のある社会的なテーマについて、情報を整理し要点とともに自分の意見を述べることができる。 ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことを、情報や考えを整理し、その内容を発表することができる。 ・発表の際には抑揚やジェスチャー、声の強弱など、たくさんの方法を用いて伝えることができる。	・主題を決め、さまざまな種類の文章を書くことができる。 ・自分の意見を具体的な事例や理由を添えて論理の明確な複数の段落から成る英文を書くことができる。 ・書いた内容を読み返して推敲することができる。 ・社会的な話題や時事問題について書かれている説明や評論などを精読して、情報や考えなどの要点や詳細を 100 語程度の英文に要約できる。 ・与えられたトピックに関して、一定の準備時間で自分の意見を明確にしながら、まとまりのある文章を書くことができる。 ・特定のトピックに関して、参考文献やインターネットなどから情報を収集し、それをまとめた文章を 5 パラグラフの形式で書くことができる。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の語彙，表現，文法，言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語についての語彙，表現，文法，言語の働きなどの知識を用いて，適切に読み書きできる技能を身に付けている。	日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	題材の背景にある文化等に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	文化　言語　教育	・折り紙の技術 ・俗語を禁止した学校 ・ヘリコプター・ペアレント	a:語彙，表現，文法，言語の働きなどについて理解し、適切に読み書きできる。 b:本文の内容について，概要や要点，詳細を把握したり、書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 c: 題材の背景にある文化等に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いようとしている。	定期考査	定期考査、取り組み観察	取り組み観察、パフォーマンス課題
	睡眠　文化　心理	・会社員への昼寝の推奨 ・国民性の一般化 ・衣服の倫理的影響	a:語彙，表現，文法，言語の働きなどについて理解し、適切に読み書きできる。 b:本文の内容について，概要や要点，詳細を把握したり、書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 c: 題材の背景にある文化等に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いようとしている。	定期考査	定期考査、取り組み観察	取り組み観察、パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

2	技術 生物 脳科学	・３Ｄプリンターの進歩 ・ハチの減少の原因 ・画家のものの見方	a:語彙，表現，文法，言語の働きなどについて理解し、適切に読み書きできる。 b:本文の内容について，概要や要点，詳細を把握したり、書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 c: 題材の背景にある文化等に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いようとしている。	定期考査	定期考査、取り組み観察	取り組み観察、パフォーマンス課題
	人物 人権 社会	・アームストロング船長 ・近接学 ・いじめの問題	a:語彙，表現，文法，言語の働きなどについて理解し、適切に読み書きできる。 b:本文の内容について，概要や要点，詳細を把握したり、書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 c: 題材の背景にある文化等に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いようとしている。	定期考査	定期考査、取り組み観察	取り組み観察、パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度